

浅間台自治会だより

発行日 2026（令和8）年 2月号
創刊 1995（平成7）年 通算157号
編集 浅間台自治会だより発行委員会

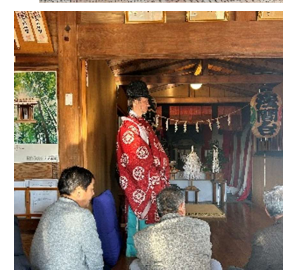


ホームページ



カウントダウン前

地域のFMラジオ局「あげおエフエム」（あいラジオ）が元旦祭のカウントダウンに参加しました。P・A・P・Aのプリンス棟1階 周波数89.1メガヘルツで放送されています。災害発生時などには、地域の大事な情報源となることが期待されます。初詣の人が多くなることに貢献したかもしれません。一番乗りのグループは、紅白歌合戦が終わる前から並んでいました。



元旦祭 並ぶ時間続く

神主さんから『今年の干支は、60年ぶりの丙午（ひのえうま）。午は午前と午後を分ける正午でバランスが求められるとのこと。悪い場合は前向きに、良い時には慎重に』と、お話をいただきました。



元旦祭は、カウントダウン後の寒い中600人ほどがお参りしました。元日はお天気に恵まれさわやかな青空のもと、昼過ぎまでお参りする人の途切れることはなく、隣の倉庫のバス停付近まで並ぶ時もありました。初詣に来た人が「すごい人出だね」と驚くほどでした。元日だけでトータル1500人を超えていました。



二日もお天気に恵まれ1000人ほ



どのお参りがありました。三日は前夜の雪で銀世界です。

実家へでも帰っていた人のお参りでしょうか、終了間際の3時まで途絶えることはほとんどありませんでした。浅間台の住民の半分以上がお参りしたようです。



元旦祭を支えた人達

巫女さん達は、長年子ども会会長の尾形さんのルートで選んでいただいているようです。尾形さんは、喜寿を迎えた方ですが、今でも子ども達の名前をすぐに言える能力をお持ちの方です。そこで子ども会で活躍した親子に巫女さんを依頼しています。今年は、元旦祭は村橋家・元日は三浦家・二日は新井家をお願いしたそうです。三日は祭典部員で対応しました。新井さんのお子さん碧さんは、中高とバスケットボールに専念していましたが、バスケット卒業後の隙間での初めての体験でした。①神社のお札等の意味《学業成就・交通安全・家内安全・健康》などの願いで、お札を毎年取り換えること ②たくさんの人がお参りに来る実感を味わったことなどを楽しそうに話してくれました。また、子ども会の同窓会のようになり、親を交え子ども達の心身の成長を語り合え、街で育てる子育てを実感できたようです。



自治会としても、地元の人々の巫女さん役に感謝し、来年は巫女さん用の袴を用意しようと声が上がっています。

祭典部の役員の時は、家族親戚と付き合いも限定され出かけることもできないと言われていましたが、グループラインの活用で会議の集合は思い切って減らし、土日の会議を極力減らしたそうです。三が日も計画的に休みの人を作りました。外注できることは外注も取り入れ、ごみの収集も業者に依頼しました。お陰で神社の倉庫などの片付けも進みました。誰もがすぐに準備できるように倉庫の見える化が進められたようです。試みで実行委員会まで無くしたことは、戸惑いもあったようです。地域の人材を有効に活かすことも自治会の重要な課題の一つと考えます。



12/14 第1回理事会

議事については順調に審議されましたが情報交換の場で、「回覧や全戸配布分の配布時期が遅く行事の把握に間に合わないケースがある」との報告がありました。住民の協力を得やすいタイミングでの配布に努めますが、迅速回覧についても皆さんの協力をよろしくお願いいたします。

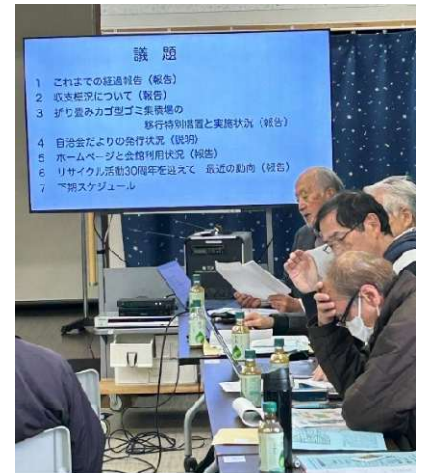
1/14 アスベスト予備調査

最近になって浅間台会館の構造材料の鉄骨に、アスベストが吹き付けられていることが判明しました。アスベストは体内に入ると長い潜伏期間を経て肺癌等の

健康障害を起こすことが知られています。

このため上尾市とも相談、専門の調査会社に依頼し、大ホールと大和室の空気中のアスベスト含有量検査を1/14に実施しました。検査結果は異状無しで会館の利用については問題ありません。安心してご利用ください。

しかし、天井裏にはアスベスト吹付材が落下して降り積もっていることも確認されました。今回の検査は当面の安全確認のための予備調査と考えています。



1/25 子ども会 カルタ上尾市大会

参加者全員入賞し賞状を頂きました。高学年チームは準優勝で県大会へ進みます。体調を整えて良い結果を報告できるようにしてください。

自治会からのご案内

- ◇ 自治会の関連団体として長年ご活躍いただいていた婦人会を解散することとしました。新たに子育て支援クラブを関連団体として認定することとしました。
- ◇ 浅間台自治会だより12月号の4ページ民生委員の所で大きなミスがありました。二丁目②の友光薫さんの住所と電話番号が間違っていました。お詫びし訂正させていただきます。(敬称略)

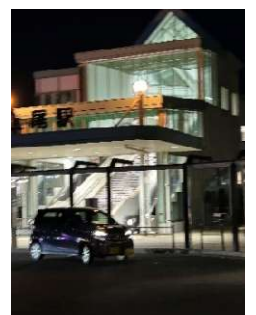
担当地域	担当区割り	氏 名	住 所	電 話
二丁目②	5～18 25～27	友光 薫	2-14-1	771-1674

- ◇ 長年に渡り行事で利用されていた自治会の古いテント4張りの処分を考えています。ご希望(日よけホープや雑草除けなどでの利用など)があれば、担当副会長へご連絡ください。



◇「助け合い」が、命を救い、まちを守る

大きな災害への備え、そして災害が発生した際には、いろいろな人の協力が欠かせません。日頃から、それぞれの助け合いの心と活動が大切です。まず、自分と家族の命を自分たちで守ること、非常持ち出し品・備蓄品を計画的に準備しましょう。



地震発生直後 あなたはどう対応しますか？ まず自分の身を守る視点で考えてみましょう。

- ① **自宅にいた場合** ・家具が倒れてくる、物が落ちてくる場所から離れテーブルの下などに避難する。
布団や枕で頭を守る。
- ② **道路・繁華街にいた場合** ・ブロック塀・自動販売機などから離れカバンなどで頭を守る。看板や割れた窓ガラスの落下物に注意する。切れたり垂れ下がったりした電線には近づかない。触らない。
- ③ **商業施設・地下街にいた場合** ・商品棚やディスプレイ装飾から離れ、壁や太い柱に身を寄せカバンなどで頭を守る。
- ④ **エレベーターにいた場合** ・揺れを感じたら全ての階のボタンを押す。停止した階ですぐ降りカバンなどで頭を守る。
- ⑤ **電車やバスに乗っていた場合** ・急ブレーキや緊急停車に備えて、つり革や手すりにしっかり捕まり、足を踏ん張って倒れないようにする。座っている場合は姿勢を低くして頭を守る。
- ⑥ **運転中の場合** ・徐々にスピードを落として、交差点を避け左側に止まる。避難する場合は車を移動できるようにキーを車内に置きドアをロックせずに離れる。

浅間台の自主防災活動について

浅間台自治会長 自主防災会長 西脇正典

浅間台自治会は、運動会、夏祭り、納涼フェスタ、会館祭り、元旦祭の行事を通して、親睦活動を大事にしています。それぞれの行事には毎回1,000人～4,000人近くの住民が参加し、盛況に実施されています。このような実績から非常災害時の住民同士の助け合いへと自然発生的に進むものと期待しています。会館脇にある防災倉庫には、発電機等も含めて準備されています。昨年から今年にかけては、緊急簡易トイレを購入し、今後アルミの防寒着を購入予定です。

一方、自治会未入会世帯が全居住世帯の約4割に達していることから、この未加入世帯に対するアプローチの方法を模索しているところです。災害時の地区内助け合いの重要性の観点から入会促進ができないか、皆さんとともに検討していきたいです。

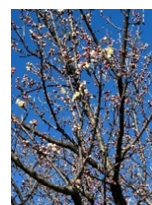
非常災害時の避難所設置訓練が頻繁に行われていますが、この避難所が開設されるまでに一定時間がかかること、また避難所開設までには至らない災害（地区内の火災）など発生時の一時的な避難所として浅間台会館を活用するために、地震でゆすられた後の建物の構造的な安全性と建築材料の劣化度の確認等も進めていきます。

自助の延長としての隣近所の皆さんとの声掛けをもとに、共助のあり方を研究していきます。



今後の予定

- 2月19日（木）18:00～ 夜間パトロール
- 3月1日（日）13:30～ 第2回理事会
- 3月21日（土）13:30～ 子ども会歓送迎会
- 4月5日（日）13:30～ 令和8年度定期総会



<編集後記> 防災は誰にとっても重要な問題です。幸いにも水害に関しては比較的恵まれた地域ですが、地震・噴火・火災さらに異常気象の想定外の水害も不安です。自助の部分では悔いを残さないように備えあれば憂いなしで準備・家族での情報共有に心がけたいものです。

2月号が届けられる頃は、ミラノ・コルティナオリンピックの真っ盛りかと思いますが、良い成績で日本を元気付けられたらいいなと願っています。（正）